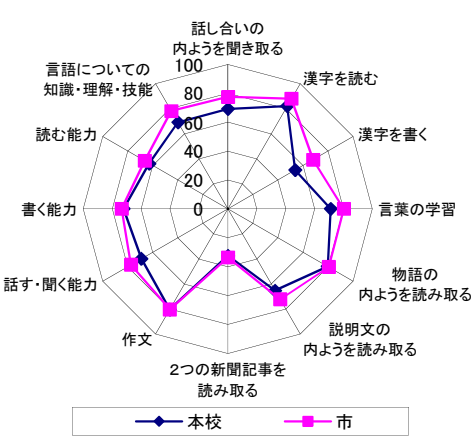


宇都宮市立新田小学校 第5学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内ようを聞き取る	69.0	77.4
	漢字を読む	82.1	87.9
	漢字を書く	53.8	68.1
	言葉の学習	71.2	80.2
	物語の内ようを読み取る	79.7	80.6
	説明文の内ようを読み取る	65.2	72.3
	2つの新聞記事を読み取る	32.4	33.5
	作文	80.4	80.3
観点別	話す・聞く能力	69.0	77.4
	書く能力	72.2	73.4
	読む能力	62.8	66.4
	言語についての知識・理解・技能	69.0	78.2



★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内ようを聞き取る	・宇都宮市の平均正答率と比べ、8.4%下回っている。すべての設問において下回っているが、特に「司会者の工夫を考えながら、話の内容を聞くことができる。」が8.9%、「話し手の意見の相違点を聞き取り、自分の意見を話すことができる。」が8.8%下回っている。	・授業中、相手の話すことを正確に聞き取りながら話し合えるよう、話し合い活動の仕方を練習する活動の場を多く設定していく。 ・授業中だけでなく、朝の一分間スピーチなどみんなの前ではっきり話す場を多く取り入れていく。
漢字	・宇都宮市の平均正答率と比べ、「漢字を読む」設問では5.8%下回っているが、「漢字を書く」設問では、14.3%と更に低くなっている。すべての設問において下回っている。	・朝の学習や自主学習などに漢字を読み書きする活動を多く取り入れ、毎日着実に練習する場を確保していく。 ・引き続き、小テストやドリルなどを活用して繰り返し学習に取り組むことで、更に定着を図っていく。
言葉の学習	・宇都宮市の平均正答率と比べると、平均9.0%下回っている。「句読点の打ち方を理解している。」の設問では、ほぼ市の平均と同じであるが、他の設問ではすべて下回っている。特に、「ことわざの使い方を理解している。」の設問では、19%と大きく下回っている。	・ことわざの意味を知るだけでなく、文中でどのように使うかなど、辞書を活用しながら理解を深めていく。 ・ことわざを使ってクイズをするなど楽しく覚えらる学習方法を工夫して定着させていく。
物語の内ようを読み取る	・宇都宮市の平均正答率と比べると、平均2.7%下回っているがその差はあまり大きくない。「登場人物の心情を読み取ることができる。」の設問では、1.4%上回っている項目もある。	・登場人物の気持ちや様子が分かる言葉や文に着目させて読み取れるようにしていく。 ・進んで読書をするよう声掛けをしたり朝の読書の時間を確保したりして、読書を奨励していく。
説明文の内ようを読み取る	・宇都宮市の平均正答率と比べると、平均7.1%下回っている。「文章の内容を的確に読み取り、まとめることができる。」の設問では市の平均との下幅が3%程度だが、「段落のまとまりを考えながら読み取ることができる。」の設問では、17.2%と大きく下回っている。	・段落のまとまりごとに要旨をとらえたり、文と文をつないでいる言葉に着目して読み取るようにする。 ・物語ばかり読むのではなく、読書の幅を広げて読む活動を多く取り入れていく。
2つの新聞記事を読み取る	・宇都宮市の平均正答率と比べると、平均1.1%下回っているがその差はあまり大きくない。「二つの文章の共通点を読み取ることができる。」の設問では、0.8%上回っている。	・二つの文章を比べて読む活動を多く取り入れ、共通点や相違点を考えながら読み取っていくようにする。
作文	・宇都宮市の平均正答率と比べると、平均0.1%とわずかながら本校の平均正答率のほうが上回っている。「自分の意見と感想を区別して書くことができる。」の設問では、4.4%市の平均よりも下回っている項目もあるが、他のすべての項目において上回っている。特に「二段落構成で文章を書くことができる。」の設問では、2.9%上回っている。	・日ごろから、短作文や日記指導などを通して、自分の考えを文章にする機会を多く設け、自分の意見と感想を区別して書けるよう練習していく。 ・構成の仕方や段落の付け方など文章の書き方を十分理解させていく。